
これからの世界

2020年6-7月、宇野正美さんの動画を幾つか観て学習できたことは良かった。

2020年現在、日本人口1億2,600万人のうち、5,000万人（人口の約40%）がユダヤ人である。
他の60%は中国系、ロシア系、その他が占める。（その意味では日本人は単一民族ではない）

日本の生い立ちとして、ユダヤ人が5000万人イスラエルから？年前に移住、
第三次世界大戦で14万4000人に減ると言う。

旧約聖書は宗教の事ばかり書いた本ではなく、予言書との事。
これから起きる事を2600年前に書き記されたもの。
西暦2020年の現在、旧約聖書に書かれた内容と酷似した世の中になっているとの事。

ロシアが今のイスラエルに侵攻した時、第三次世界大戦は起きる。
アメリカと中国が衝突する。
アメリカと中国が衝突して、両方が滅んで欲しいと、ドイツは願っている。（漁夫の利）
ドイツの上級国民は南米（アルゼンチン？）の地下に移住を済ませている。

世界の終りの兆候は、「戦争の噂」を耳にするようになったら、終わりが近づいている。
噂とは、今の時代の情報インフラは、テレビの他、SNSも含まれる。
噂は第三次世界大戦の噂の事。

ユダヤ人は、大きく分けて2種類になる。
（1）本物のユダヤ人、（2）アシュケナージ・ユダヤ人。
アシュケナージ・ユダヤ人は、宗教がユダヤ教の信者で、カスピ海付近に住む、カザール人を指す。
カザール人と呼ぶのを間違えてユダヤ人と発表してしまったのが悲劇となる。
ヒトラーによりアウシュビッツ収容所等で殺されたのは、アシュケナージ・ユダヤ人。
ヒトラーの娘が、ドイツのメルケル首相。（アンゲラ・メルケル）

日本に漢字が入ってくる前、日本では平仮名が使われていた。
この平仮名の2／3は、ユダヤ人が移住した時に広まったもの。残りの1／3は中国から伝わったもの。
そのため、平仮名（とカタカナ）はユダヤ人の公用語であるヘブライ語と同じ発音で同じ意味のことが多い。

日本で使われる掛け声の、ヤッホー、ワッショイ、ヤーレン、ソーラン、ハイ、ドッコイショなどは、ヘブライ語。
ヤッホーは、神様ー！。ワッショイは、神が来た！。という意味。
神輿を担ぐ掛け声のワッショイは、正に意味が一致する。しかし日本人の多くはただの掛け声としか思わない。

勾玉（まがたま）の形は、ヘブライ語で「神への信頼」という言葉の頭文字を現したもの。胎児の形を象ったものではない。
（形は、ヘブライ語「ヤーオル」の事？・・・YhWhol/神の絆？）

山伏の装束は、ユダヤ人の儀式で着る装束と酷似している。
日本の祭（伊勢神宮や出雲大社、八坂神社など、古くからの神社儀式）で使用する神事や祭壇は、ユダヤ人のそれと同じ。

三種の神器

【契約の箱】

契約の箱を保存、あるいは一時的保存した場所へは祝福があった。

※日本がこれまで、なぜ祝福されてきたのかは、「契約の箱」が国内にあるから。

※日本で古来よりある「神輿」は、「契約の箱」をカモフラージュする為に作られた。

契約の箱の中身（三種の神器）

三種の神器（契約の箱に入れられていたもの）

- ①八咫鏡（ヤタノカガミ）・・・・・・・・伊勢神宮に在ると言われている。
- ②八咫瓊勾玉（ヤサカニノマガタマ）・・・・赤坂御所（皇居）に保管
- ③草薙剣（クサナギノツルギ）・・・・・・・・名古屋の熱田神宮に保管 （信長は熱田神宮に集合し桶狭間に出発。）

ユダヤの三種の神器（契約の箱に入れられていたもの）

- ①モーセの石板（白い石板の2枚で構成されている。 いわゆる「十戒」の言葉が書かれている。）
- ②マナ（食べ物）の壺
- ③アロン（人名）の杖

<https://www.youtube.com/watch?v=IUXXu5UGj8E>